

えほん版 ブックリスト

# ビーだま



2014年 No.38

<編集・発行>

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4-50

電話 076-432-7273

平成26年10月27日発行

(年2回発行)

2014年1月～6月に図書館に入った本の中から、  
とくにおすすめの本をしょうかいします。



## ぽんちんぱん

柿木原 政広／作 福音館書店



「ぱんぱんしょくぱん ぽんちんぱん」歌  
のようなリズムにあわせて、食パン、あん  
パンなど、子ども達の大好きなパンが登場しま  
す。パンをちぎると楽しい顔のできあがり。  
ページをめくるたびにあらわれるパンの  
表情が面白く、思わず笑顔になります。

[赤ちゃん～]

## はだしになっちゃえ

小長谷 清実／ぶん サイトウ マサミツ／え 福音館書店



男の子が、ビーチサンダルをぬいで裸足になると、暑く焼けた砂浜はあっちっち。波打ち際の濡れた砂はひやとしてて、気持ちいい。

夏の海のわくわく感が、ダイナミックな裸足の絵で描かれています。

[幼児～]



## しきぶとんさんかけぶとんさんまくらさん

高野 文子／作・絵 福音館書店

眠る前、男の子は「おしっこがでたがりませんように」と、敷布団にそっとお願いをします。布団たちは、「まかせろまかせろ おれにまかせろ」と頼もしく応えてくれます。

布団たちとのやりとりがあたたかく、子どもたちも安心して眠れそうです。



[幼児～]



## ながいでしょりっぱでしょ

サトシン／作 山村 浩二／絵 PHP 研究所



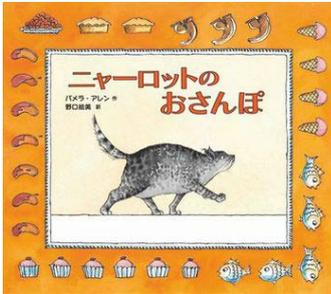
ゾウが、自分の長くてりっぱな鼻を自慢します。へびもキリンも、みんな自分の長いものを自慢します。では、ニワトリが持っている長いものとはなんでしょう。

動物たちのご自慢の“長いもの”が、見開きいっぱい描かれた、楽しい絵本です。

[幼児～]

## ニャーロットのおさんぽ

パメラ・アレン／作・絵 野口 絵美／訳 徳間書店



ある日、ねこのニャーロットが散歩に出かけました。煮豆を一皿、次にポークパイ二つ、骨付き肉を三本、行く先々でご馳走をぺろり。すると、お腹はたいへんなことになります。

ご馳走をどんどんたいらげてゆくニャーロットの姿が、笑いを誘います。

[幼児～]

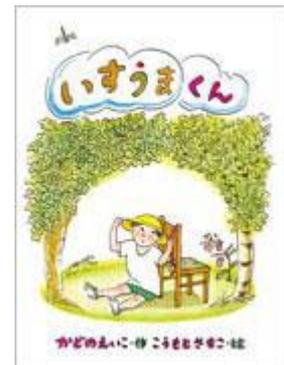


## いすうまくん

かどの えいこ／作 こうもと さちこ／絵 福音館書店

たっくんは、おばあちゃんの家で、お父さんが小さかったころの椅子を見つけます。馬乗りになつくと、椅子は外に飛び出し、空の散歩へと連れていってくれました。

父が経験した子ども時代の魔法を、息子もいっしょに楽しみます。

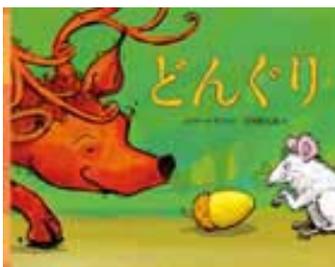


[幼児～]



## どんぐり

エドワード・ギブス／作 谷川 俊太郎／訳 光村教育図書



地面に、小さなどんぐりが一つ落ちました。動物たちが次々とやってきて食べようとしますが、どんぐりは、「今はまだ食べないで」とお願いします。

言葉のリズムと繰り返しが楽しい絵本です。

[幼児～]

## 大きくなるってこんなこと!

ルース・クラウド／ぶん  
ヘレン・オクセンバリー／え  
山口 文生／やく 評論社

春も夏もすぎ、秋がきて、子犬やひよこは大きくなりました。だけどぼうやは、まだ小さなままです。本当に大きくなるのかな？

めぐる季節とともに、ぼうやの成長を描きます。



[幼児～]

## どうぶつたちは知っている

イーラ／写真  
マーガレット・ワイズ・ブラウン／文  
寺村 魔耶子／訳 文遊社

動物たちは何かを見ました。アシカもシカも子ネコも、次々とみんなあるものを見て驚きます。いったい何を見たのでしょうか。

動物たちの一瞬の表情を切り取った、楽しい写真絵本です。



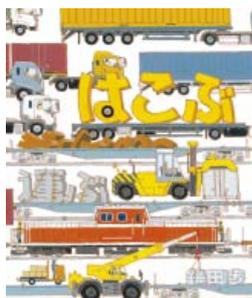
[幼児～]

## はこぶ

鎌田 歩／作・絵 教育画劇

“運ぶ”をテーマに、昔から現在までの道具や乗り物が集まりました。荷車や牛車、トラック、船など緻密な絵で描かれています。

“運ぶ”ことの進化の様子がわかります。



[幼児～]

## よかったね、カモのおちびちゃん

エヴァ・ムーア／ぶん  
ナンシー・カーペンター／え  
いまえ よしとも／やく BL 出版

公園の池で、カモの母さんと子ガモたちが暮らしています。散歩の途中、母さんのあとを歩く子ガモたちは次々と排水口に落ちてしまいました。さあ、大変！ニューヨークであった、本当のお話です。



[幼児～]